

1. 頭頸部とはどこなの？

頭頸部とは、鎖骨から上で目と脳と頸椎を除いた部位のことを言い、この部にできたできものを「頭頸部腫瘍」といい、その中の悪性のものの多くを「頭頸部癌」といいます

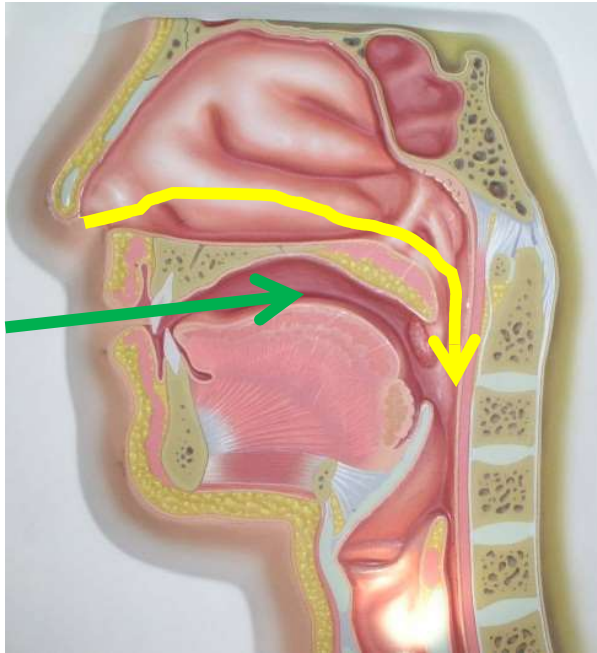
実際には、口の中（口腔癌）、鼻の中（鼻副鼻腔癌）、のどの中（咽頭癌、喉頭癌）、の他に唾を作る袋（唾液腺癌）や甲状腺（甲状腺癌）などを扱います

心臓や肺臓などの内臓系にできたできものではありませんが、顔に近く、空気や食べ物の上部の通り道に関するため、呼吸、飲み込み（嚥下）、話す（発声）といった働きと共に、嗅覚や味覚、時に視覚など多くの感覚器症状に関係します
また、顔面に近い部位のため治療により顔貌にも関係します

このような様々な部位に発生するできもののため、共通点もありますが異なる点もあり、それぞれの部位に応じた治療を行います

その際には、病気を治すことと共に、形（顔貌、形態など）と各部位の働き（機能）を損なわないような治療が望まれます

のどの奥はどうなっているの？



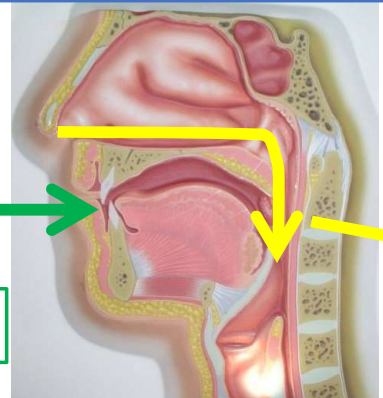
ものを食べると、食べ物は「口（口腔）」からのどの奥（中咽頭、さらに下咽頭）に送られ、食道から胃にはいって消化されます。

息を吸うと、空気は鼻（鼻腔）と口（口腔）からのどの奥（中咽頭から、さらに喉頭）を通して気管から肺に入っていきます。

このように、咽頭は食べ物の通り道、消化管を形成し、喉頭は空気の通り道、気道を形成します

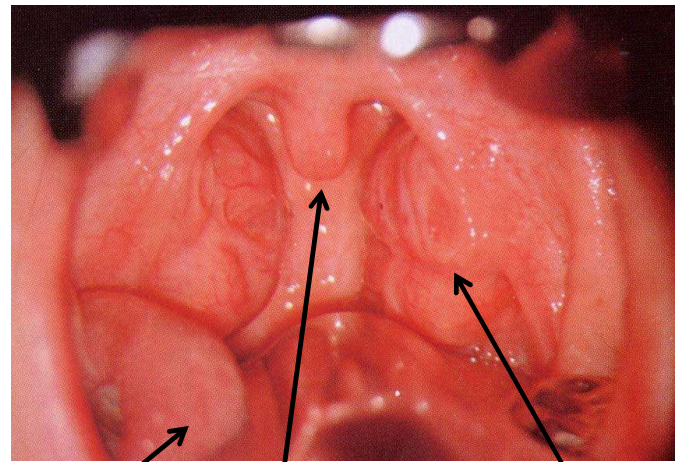
また食べ物を食べる際には、中咽頭において食べたものが喉頭から気管へ入らないような複雑な動きをします。

口に中とのどの奥の構造

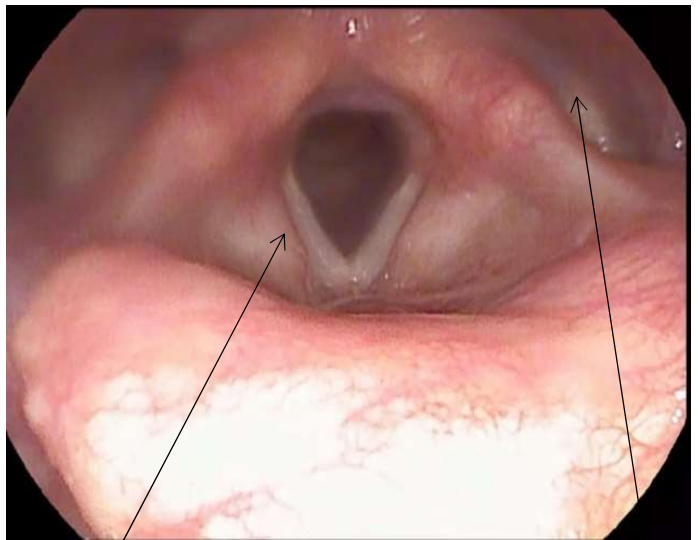


口を開けてみたのど

内視鏡で見たのどの奥

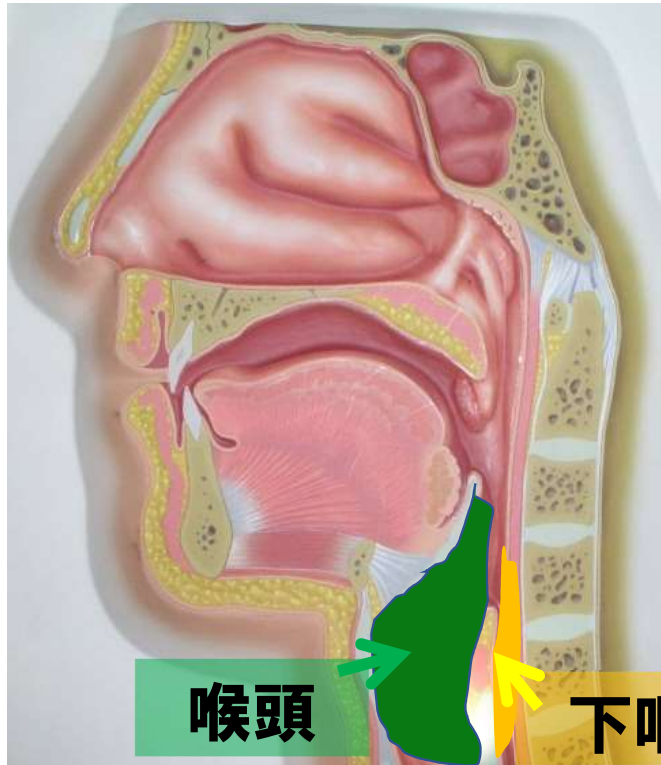


舌
のどちんこ (口蓋垂)
扁桃腺 (口蓋扁桃)



声帯
下咽頭

のど： 咽頭(食べ物の通り道)と喉頭(空気の通り道)



喉頭

咽頭

さらに下方では気管から肺へとつながる空気の通り道(気道)

さらに下方では食道から胃へとつながる食物の通り道(消化管)

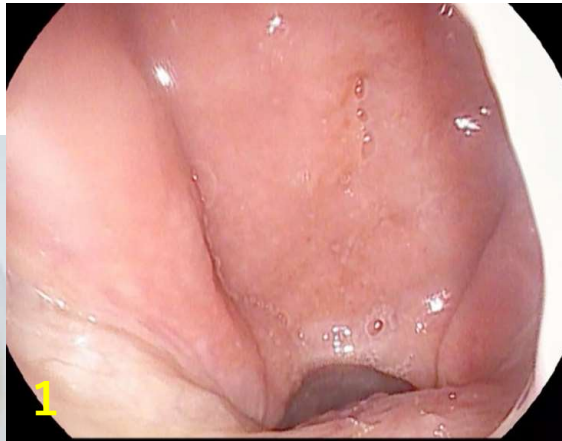
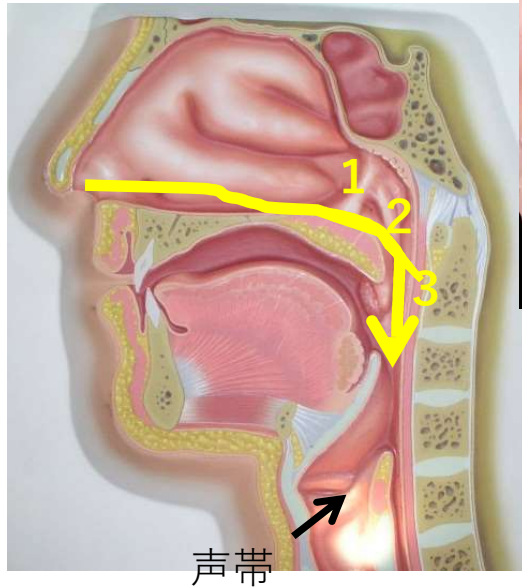
呼吸機能

嚥下機能

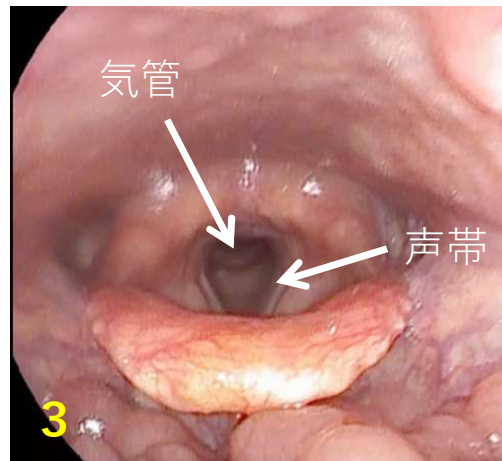
発声機能

呼吸の道筋(気道)を保ちながら、食べたものが気管に入ってしまうないようにものを飲み込み、さらに声を出すといった三つの機能がバランスよく機能することが重要です

内視鏡を用いて見た鼻からのどの奥の構造 1



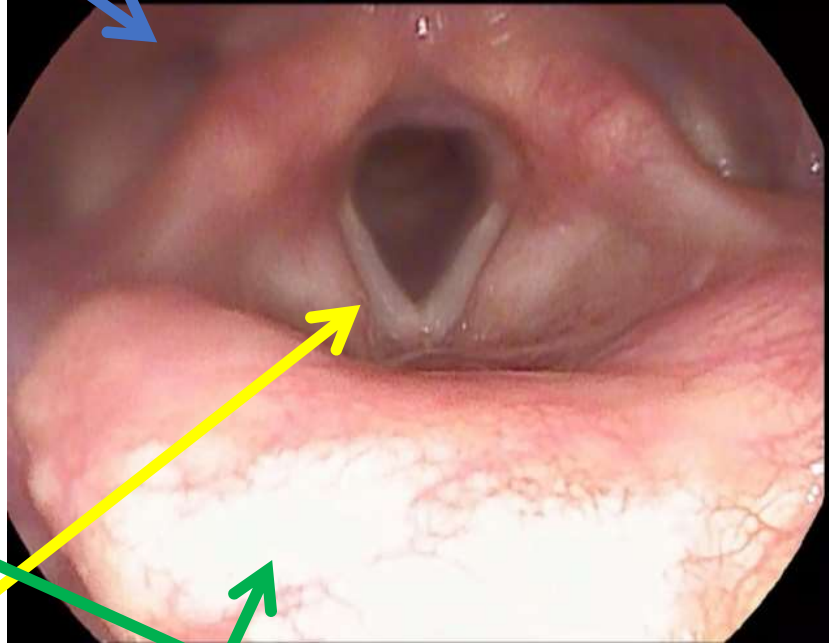
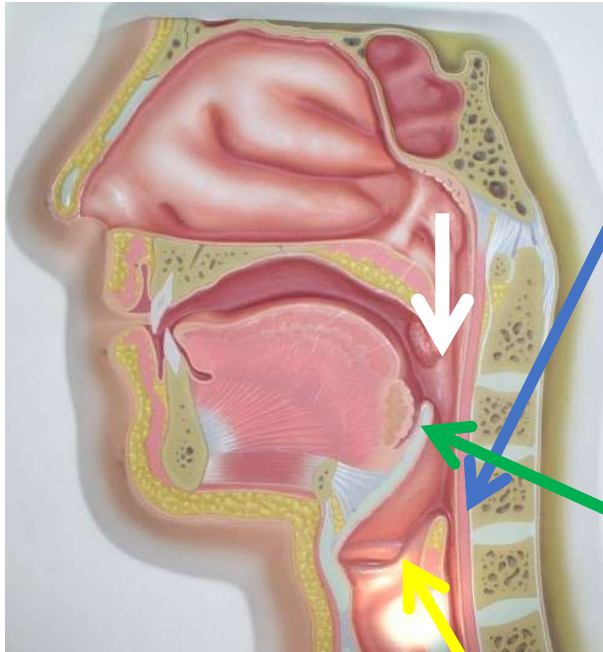
内視鏡を入れて鼻の奥の突き当りから少し下を見ています (1)
内視鏡をさらに下方に入れ、のどちんこ (口蓋垂) をこえると
奥に声帯をふくめた喉頭 (白矢印) が少し見えてきます (2)



さらに下方に進むと
白く V 字状に見える声帯とその奥
には気管が見えてきます (3)

内視鏡を用いた見た鼻からのどの奥の構造 2

下咽頭：さらに奥に行くと食道につながる食べ物の通り道



声帯

喉頭蓋：食べ物が気管に入らないようにする軟骨の蓋

内視鏡を用いた見た鼻からのどの奥の構造 3

